

厚生労働大臣 田村 憲久 様

2021年9月29日

診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の上乗せ特例の延長 を求める再要請

立憲民主党 新型コロナウイルス対策本部
会派 厚生労働部会

新型コロナウイルスの感染拡大が始まって以降、長期間にわたって、医療、介護、障がい福祉の現場では、感染を防止するための徹底した対策を講じることを余儀なくされています。今年9月末を期限とする診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の上乗せ特例は、新型コロナウイルスの感染防止対策の負担を強いられる医療機関、介護・障がい福祉事業所の運営に重要な役割を果たしてきました。そのため、医療、介護や障がい福祉の関係団体から、10月以降も延長することが要望されてきました。私たちも特例の重要性に鑑み、特例の延長を貴職に要請してきました。

しかし、貴職は特例を9月末で打ち切り、実費を補助する補助金に切り替える方針であることを表明しました。それに対して、現場からは以下のような失望と落胆の声が出ています。

1点目は、使い勝手が悪く、申請に手間がかかり、今まで通り支給されるかどうか分からない補助金は困るというものです。私たちとしても、予算規模が縮小され、多くの事業所でこれまでと同水準の金額が支給されなくなることを危惧しています。また、手間をかけて申請しても審査の結果によっては補助金が支給されない可能性があり、申請を断念する事業者が出てくることも懸念されます。

2点目は、新型コロナウイルスの感染が収束したわけではないのに、新型コロナウイルス対策のための特例が廃止されるのは理解できないというものです。政府の方針は、現場を見捨てるものと捉えられています。

現場を支えている方々や私たちの要望に反して、特例を打ち切ることに強く抗議します。それとともに、報酬への上乗せという簡便な方法で、医療機関、介護・障がい福祉事業所に広く支援が行きわたるよう、これまでの診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の上乗せ特例を10月以降も延長するよう、改めて強く要請致します。

以上